

アーツサポート関西 2024 年度助成活動の紹介



みなさまに支えられて活動してまいりましたアーツサポート関西は、昨年設立 10 周年を迎えました。これまでに累計 2 億円の寄付を頂戴し、美術、音楽、舞台芸術、伝統芸能などの分野で活躍するアーティストや団体による約 300 件の活動を支援してまいりました。皆さまからお寄せいただいたご支援に心から感謝申し上げますとともに、引き続き関西のアーティストたちを支えるアーツサポート関西の取り組みにご支援賜りますようお願い申し上げます。

2024 年度は、寄付の募集と助成支援がセットになったクラウドファンディング助成で 4 件に対して 239 万円、皆様のサポート金などから支援する一般助成では、関西を拠点に活動を行う芸術家・団体 11 件に対し 300 万円をそれぞれ助成。また寄付者が設置したファンドごとに助成する個別寄金助成からは若いクラシック音楽家を支援する「トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金」の 300 万円を含む、30 件に対し 540 万円を助成しました。

クラウドファンディング助成

(4 件 239 万円)

公募で採択されたプロジェクトを WEB で公開し、それに賛同した方々から寄付を募り、集まった寄付から助成する新しい取り組み。公益財団法人が行うクラウドファンディングとしては国内でも先駆的なもの。対象分野は、美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能の 4 分野。

Unplugged 360° (音楽)

主催者：株式会社 EveryBuddy

場所：大泉緑地（堺市） 実施日：2024 年 5 月 18 日

活動概要：Unplugged 360°（アンプラグド・サンロクマル）は、一般募集に応募した数百人規模のメンバーで巨大バンド「THE %」（ザ・パーミル、千分の 1）を結成し、屋外の公園に集まり全員で同時演奏するプロジェクト。「アンプラグド」とは、アコースティックな楽器という意味。何度も練習を重ねて挑んだ本番当日は 200 人を超える様々な世代・背景の人々が自分の楽器を携えて参加。忘れえぬ一瞬を全員で分かち合った。
主催者からの声：本番前に公園の隅で参加者同士が即興で演奏しあう光景も生まれ、幸せを感じました。



第 2 回ポラリス国際音楽祭 (音楽)

主催者：ポラリス国際音楽祭実行委員会

場所：吹田メシアター（吹田市） 実施日：2024 年 10 月 19 日～20 日

活動概要：コロナによって傷ついた音楽や芸術の未来の目標や指針となるという願いを込め、ポラリス＝北極星と名付けられた音楽祭。「手軽な値段で最高の音楽を」をテーマに、若い音楽家たちにもフォーカスした全 12 のプログラムを大阪の吹田の地で 2 日間にわたり開催。第 2 回となる今回はチェコの弦楽四重奏団やオーケストラも加わり、ワークショップなどを含む多彩な切り口で音楽のすばらしさを伝える 2 日間となった。
主催者からの声：クラウドファンディングで寄付集めのほか、音楽祭の周知、告知につながったことも実感！



金一志伝統芸術院 創立 30 周年記念公演【舞縁】(舞台芸術)

主催者：特定非営利活動法人金一志韓国伝統芸術院

場所：ロームシアター京都サウスホール（京都市） 実施日：2024 年 6 月 23 日

活動概要：韓国から日本の古典芸能発祥の地である京都に居をかまえ 30 年を迎えた金一志韓国伝統芸術院の 30 周年記念公演。朝鮮と日本の深い結びつきを今に伝える同学院所属の踊り手たちが、韓国伝統舞踊の多様な魅力を高い水準で示した。華やかで美しい民族衣装、粋でダイナミックな男性舞、華やかで艶やかな女性舞、独特のリズムで力強く舞う打楽器の舞、そして世界文化遺産である宮廷舞踊などを存分に披露し、満員の聴衆を魅了した。
主催者からの声：ご支援により韓国より演奏を担当する一流の楽師たちを呼び寄せることができました。



アルトゥロ・ウイの興隆 (演劇)

主催者：大阪劇団協議会

場所：吹田メシアター中ホール（吹田市） 実施日：2025 年 2 月 20 日～23 日

活動概要：大阪の劇団が集い結成した大阪劇団協議会。毎年プロデュース公演として意欲的な企画の公演を開催している。今回は劇団往来を中心にプレヒトの「アルトゥロ・ウイの興隆」を吹田メシアターで上演。ドイツからアメリカに亡命したプレヒトが、脅しや暴力で権力を掌握していくヒトラーを、シカゴで暗躍するギャングのボスの姿に重ね合わせて描いた問題作。世界中で民主主義の危機が叫ばれる今、大きな意味を持つ公演となった。
主催者からの声：今後もプロデュース公演を続けていき、関西の演劇界を盛り上げていきたいです。



八千代電設工業伝統芸能支援寄金助成（2 件 50 万円）

能狂言における青少年への教育普及を目的とした事業を支援

ヲトのたね 2024（伝統芸能）

助成先：ナニワノヲト

助成額：25 万円 場所：貞光能舞台（西宮市） 実施期間：2024 年 5 月 1 日～12 月 8 日

活動概要：ナニワノヲトは関西を拠点に活躍している能楽師囃子方の若手男子 4 名からなるユニット。メンバーは成田奏（小鼓）、山本寿弥（大鼓）、中田一葉（太鼓）、貞光智宣（笛）。伝統芸能の世界においていち早く SNS を駆使した発信に積極的に取り組み、若い世代を含むファン層の拡大につなげている。「ヲトのたね」は 4 回シリーズで行われ、毎回各メンバーの個性を生かしたトークと演奏をカジュアルに楽しめる内容で好評を博した。

ご担当者からの声：助成金によって SNS を駆使した取り組みをより充実させることができました。



第 6 回能楽大連吟～近江 DE 謡隊～能『竹生島』（伝統芸能）

助成先：能楽大連吟「近江 DE 謡隊」

助成額：25 万円 場所：草津クレアホール（草津市）[全体稽古] 2025 年 2 月 23 日 [公演] 2 月 24 日

活動概要：能楽大連吟「近江 de 謡隊」は、滋賀県を拠点に活動する能楽の謡を中心とした大連吟のプロジェクト。一般から参加者を募り、能楽師の指導を受けながら滋賀県にゆかりのある能の謡曲「竹生島」を稽古し舞台上で謡を大合唱する。今回で 6 回目を迎え、75 名が舞台上で見事な謡を披露した。能の公演にはシテ方浦部幸裕、田茂井廣道らが出演。会場に集まった 400 人近い聴衆を前に本格的な能を演じた。

ご担当者からの声：観客が想定の 1.6 倍となり、滋賀の地で多くの方に能をご鑑賞いただきました。



寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金助成（1 件 50 万円）

上方落語の若手噺家の育成を目的として毎年天満天神繁盛亭で開催される上方落語若手噺家グランプリを支援

「第 10 回上方落語若手噺家グランプリ 2024」（伝統芸能）

助成先：公益社団法人上方落語協会

助成額：50 万円 場所：天満天神繁盛亭(大阪市) 予選 2024 年 4 月 3 日、10 日、17 日、24 日 決勝 2024 年 6 月 19 日

活動概要：上方落語の若手噺家の育成を目的に寄せられた 500 万円の寄付から、天満天神繁盛亭で開催される「上方落語若手噺家グランプリ」に対して毎年 50 万円を助成。2015 年から始まり 10 回目の節目を迎えた。関西の若手噺家の登竜門として定着し、彼らの目標ともなっている。満員御礼となった決勝戦では、予選を勝ち抜いた 9 名が出演。グランプリには笑福亭笑利さん、準グランプリに笑福亭呂好さんがそれぞれ選ばれた。

笑利さんの声：勝つためにネタを作り、本番直前に完成。まさに捨て身で挑みました。すごく嬉しいです！



未来アート寄金助成（4 件 90 万円）

総額 90 万円を、現代美術およびコンテンポラリーダンスの活動を行う個人に対して支援

白井 真優（しらい まゆ）（コンテンポラリーダンス）

助成額：25 万円

場所：シーサイドスタジオ CASO（大阪市） 実施日：2024 年 8 月 31 日

活動概要：人が自発的に体を動かしたくなる「イキイキ」とした状態をダンスで生み出すことを目指す白井真優。異色の存在として注目を集める。公募で集められた参加者とともに時間をかけて即興的な身体表現の創出を試みたダンス公演「THE CITY」を開催。稽古は公園などの公共空間にてワークショップ形式で行われ、偶然や景色に反応する身体を目指した。公演にはアートに馴染みのない人も多く訪れ、ひとつの成果となった。

白井さんからの声：これからもダンス空間における「イキイキ」とは何かを、さらに深堀していきたいです。



東野 祥子（ひがしの ようこ）（コンテンポラリーダンス）

助成額：25 万円

場所：インターネット上で展開 実施時期：2025 年 3 月

活動概要：コンテンポラリーダンスと実験音楽を基軸とした芸術集団「Antibodies Collective」を主宰。今回助成金を活用して、公演活動を国内外に発信する WEB メディア「ANTI-V」を立ち上げた。「前衛」と正面から向き合う彼らが行うパフォーマンスや独自にキュレーションされたサウンドなどを、YouTube など既存のメディアに頼らず独自のメディアから発信する。そこに自らの活動の根幹をなす実験性を担保する狙いがうかがえる。
東野さんからの声：「ANTI-V」の立ち上げに助成金を使わせていただくこととなり、助かりました。



Photo: 井上嘉和

林 葵衣（はやし あおい）（現代美術）

助成額：20 万円

場所：Gallery PARC ほか（京都市） 実施時期：2024 年 4 月～9 月

活動概要：林は身体の動きや記憶の歪みを視覚化することに重点を置いた作品を手掛ける。2022 年に尼崎市が設けた第 1 回白髪一雄現代美術賞を受賞。同年と 2023 年に開催した 2 つの個展を合わせた記録集「はなてばてにみてる | I see it when I let go」を本助成金を活用して制作。50 音を順に発声する口の形を樹脂にした代表作《Phonation piece》の写真 50 枚を含む、デザイン的にも凝った作りの出版物が出来上がった。
林さんからの声：資金面で苦労していた出版の計画が、助成金のおかげで実現することができました。

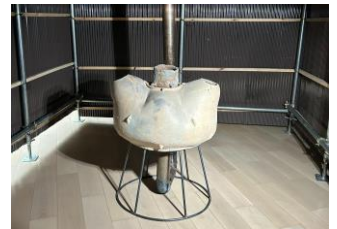


坂本 森海（さかもと かい）（現代美術）

助成額：20 万円

場所：京セラ美術館（京都市） 実施期間：2024 年 9 月～2025 年 3 月 16 日

活動概要：注目の若手作家を取り上げる京セラ美術館のザ・トライアングル展に選出され、個展「火と土と食べたいもの」を開催。インド北東部のナガランド地方で行われる生きた豚を殺して食べつくす食文化に触発され、火・土・食物の関係性を陶芸を介して表現することを試みた。豚と同じ重量を持つ「窯」を粘土で作り、火を焚いて焼成し、そこで調理された料理をふるまう様子をコマ送りの画像アニメーションで表現した。
坂本さんからの声： 助成金によって、資金的な面において新しい表現に取り組むことができました。



インターグループ上町台地現代アート寄金助成（2 件 50 万円）

大阪の上町台地にまつわる歴史、宗教、文化などのさまざまな様相を現代アートを通して浮かび上がらせる活動を支援

上町台地にある旧真田山陸軍墓地と積み重なったまちの記憶をツバメと旅する春（舞台芸術・美術）

助成先：旧真田山陸軍墓地芸術プロジェクト

助成額：25 万円

場所：TSUBAME HOUSE HOSTEL／旧真田山陸軍墓地周辺（大阪市） 実施日：2025 年 3 月 20 日

活動概要：上町台地にある旧真田山陸軍墓地が持つ様々な意味を、芸術を介して他者と共有し議論や対話につなげることを目的に、2021 年より演劇関係者や歴史研究者、地域住民が中心となって継続的に行われている活動。ツバメに扮した俳優を先導役に墓地周辺を歩くツアーパフォーマンスと、室内に置かれた立体的な触地図を前に行われる室内パフォーマンスから成る構成で実施。墓地の重層的な記録・記憶を人々と共有するものとなった。
主催者からの声：このように実験的な試みをご支援いただき、大変嬉しく思っております。



Photo: 石井靖彦

猪飼野リサーチプロジェクト（現代美術）

助成先：李和晋

助成額：25 万円

場所：鶴橋周辺の猪飼野地域（大阪市） 実施時期：2024 年 4 月～9 月

活動概要：韓国にルーツを持つアーティストの李和晋が、北朝鮮への帰国事業の出航地ともなった「新潟」をテーマに作品制作を行うにあたり、『新潟』という名の長編詩を書いた詩人・金時鐘へのインタビューおよび同氏の『猪飼野詩集』にまつわる猪飼野地域のコリアン文化へのリサーチを行った。その成果は、9 月に東京で行われた個展「新潟」で発表され、美術手帖の年間ベスト 3 に選出されるなど非常に高い評価を得た。
李さんからの声：本助成金で奈良にお住まいの金時鐘さんを訪ねるなど、充実したリサーチができました。



トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金助成（21 件 300 万円）

社会の中で音楽を実践することの意味について考える機会となるアウトリーチの要素を含む演奏活動や、高い芸術性を有するコンサートの開催費用を支援。

木管五重奏による幼稚園等への訪問演奏会

助成先：長野夏弥 助成額：18 万円

場所：柳町園、門真市立砂子みなみこども園（門真市） 実施日：2024 年 12 月 11 日、2025 年 3 月 11 日

活動概要：関西フィルハーモニー管弦楽団トップ・ホルン奏者の長野夏弥を中心に、関西フィルが拠点を置く門真市にある 2 つの未就学児童施設へ高い水準のクラシック音楽を届ける取り組み。2023 年から関西フィル首席クラリネット奏者・梅本貴子とともに続けているもので、毎回新たな視点を取り入れている点も高く評価される。

長野さんからの声：歌ったり、体を動かす要素を取り入れるなど飽きさせない内容を毎回工夫しています。



森本美帆ピアノリサイタル with 菊本恭子

助成先：森本美帆 助成額：13 万円

場所：国際楽器社ホール（大阪市） 実施日：2025 年 2 月 23 日

活動概要：ハンガリーのリスト・フェレンツ国立音楽院で学んだピアニスト・森本美帆がヴァイオリニストの菊本恭子と組んだデュオリサイタル。バルトークやリスト、あるいはハンガリー民謡を取り入れた曲などオールハンガリープログラムで構成。あまり知られていない曲も多く取り上げたが、観客から好評を博した。

森本さんからの声：温かいコメントを多くいただき、お客様にご満足いただけたようでとても嬉しいです。



ようこそ絵本の音楽会へ with エトロワール

助成先：étroisle 助成額：12 万円

場所：京都リサーチパーク 4 号バズホール（京都市） 実施日：2024 年 7 月 28 日

活動概要：3 人の打楽器奏者・吉松知佳、圓山未菜、横田悠哉による打楽器の演奏と、絵本の読み聞かせを組み合わせた未就学児童向けのコンサート。プロジェクションを使って絵本の場面を紹介する試みや、ストーリーに合わせて打楽器を効果音的に響かせる工夫など、様々な音楽の可能性を引き出した試みとなった。

主催者からの声：親子のコミュニケーションを促すような絵本を選び、その効果があったように思います。



堀江トリオ 室内楽コンサート

助成先：堀江詩葉 助成額：20 万円 場所：①南ヶ丘こども園（吹田市）、②きりん愛育園（吹田市）、③桜の庄兵衛（豊中市） 実施日：①2024 年 6 月 25 日、②10 月 15 日、③11 月 3 日

活動概要：堀江詩葉は 2 人の兄、牧生（チェロ）と恵太（ヴァイオリン）とともにピアノトリオ「堀江トリオ」として活動。それぞれモスクワ音楽院およびウィーン国立音大などで学んだ卓越した技量を誇る。地域コミュニティでの活動にも積極的に取り組み、2024 年度は未就学児童向けの訪問コンサートなどを活発に行った。

堀江さんからの声：園児向けコンサートは大好評で、園の強い要望で 10 月に追加コンサートを実施しました！



0 歳から楽しめるファミリーコンサート

助成先：一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 助成額：10 万円

場所：茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール 実施日：2024 年 8 月 18 日

活動概要：茨木市に拠点を置き積極的にコミュニティに向けた演奏活動を行うアマービレフィルハーモニー管弦楽団。未就学児童向けのファミリーコンサートを 400 席以上のホールで開催。チケットは完売となった。楽器紹介や体を使った遊びなど、これまで蓄積したノウハウを取り入れ、家族で楽しめる演奏会となった。

主催者からの声：地元の茨木市とも協力し、これからも地域の文化の向上に貢献していきたいと思っています。



吉田さや佳クラリネットリサイタル mit innigkeit 親しみを込めて

助成先：吉田さや佳 助成額：13 万円

場所：あいおいニッセイ同和損保・フェニックスホール（大阪市） 実施日：2025 年 1 月 26 日

活動概要：関西を拠点に幅広い活動を行うクラリネット奏者・吉田さや佳のソロリサイタル。クラリネットのために書かれた曲を中心に、サイズの違う大小 4 種類のクラリネットを使い分けながら、楽器としてのクラリネットの魅力を存分に引き出す演奏を披露。ほぼ満員となった会場の聴衆を大いに魅了した。

吉田さんからの声：支援によって経費的な不安が減ったため、より自由な内容を盛り込むことができました。



おでかけクラシック vol.5

助成先：上敷領藍子（あいこの音楽友だち部屋） 助成額：20 万円

場所：枚方市総合文化芸術センター・イベントホール（枚方市） 実施日：2024 年 4 月 29 日

活動概要：ヴァイオリニスト上敷領藍子による未就学児から参加できるコンサートシリーズの 5 回目。家族みんなで良質なクラシック音楽を気軽に楽しめると評判を呼び、チケットは毎回完売となる。今回はゲストとしてヴィオラ奏者の朴梨恵を招き、ヴァイオリンとヴィオラの 2 つの弦楽器の魅力を伝えるプログラムとした。

上敷領さんからの声：リピーターも多く、親御さん自身の安らぎのために来てくださっている方もいます。



バロックトランペット・古楽声楽 ワークショップとコンサート

助成先：坂林藍 助成額：13 万円
場所：ナムホール1階サロン（京都市） 実施日：2024 年 8 月 26 日～27 日

活動概要：オランダで古楽声楽を学んだ坂林藍が中心となり、トランペット奏者のデニーテオングとともに古楽声楽とバロックトランペットを対象にした2日間のワークショップとコンサートを開催。古楽の魅力を知ってもらべく、チェンバロが加わったコンサートでは、カジュアルなトークを交えながら演奏を行った。
主催者からの声：ワークショップには遠方の神奈川や広島からも参加があり、手ごたえを感じました。



原由莉子 ウィーン世紀末シリーズ Vol.8『浄夜～シェーンベルクの肖像～』

助成先：原由莉子 助成額：20 万円
場所：兵庫県立芸術文化センター（西宮市） 実施日：2024 年 12 月 4 日

活動概要：ウィーンでピアノを学び、関西を拠点に活躍する原由莉子。ウィーン世紀末の魅力を伝えるレクチャーコンサートを継続的に実施しており、今回はシェーンベルクをテーマに開催。演奏ではヴァイオリニストの渡辺紗蘭、チェリストの北垣彩が加わり『浄夜』を演奏。会場からブラボーの声も飛び大喝采を浴びた。
原さんからの声：すばらしい音響の空間で演奏ができて、自分にとっても非常に良い経験となりました。



Photo: 芦河博

0 歳からのファミリーコンサート vol. 3 と病院コンサート

助成先：今井順子 x 南美里（うたとびあの） 助成額：13 万円
場所：①ピッコロシアター小ホール（尼崎市）②ほうせんか病院（茨木市）、実施日：①2024 年 9 月 22 日、②10 月 31 日

活動概要：今井順子（ピアノ）、南美里（ソプラノ）のユニット「うたとびあの」にフルート奏者・藤田紗織が加わり、未就学児童向けのファミリーコンサートを開催。会場の 100 席のチケットは完売した。また茨木市の病院でロビー・コンサートを行い、入院されている方々向けに良質の音楽を届ける取り組みを行った。
主催者からの声：ファミリーコンサートでは舞台にあがって歌ってもらう企画が好評で、今後も続けたいと思います。



スーパークラシックアンサンブル 南御堂・花まつりコンサート

主催者：スーパークラシックアンサンブル実行委員会 助成額：18 万円
場所：真言宗大谷派難波別院・南御堂（大阪市） 実施日：2024 年 4 月 6 日

活動概要：関西の若手音楽家たち自らが立ち上げた弦楽オーケストラ「スーパークラシックアンサンブル」。大阪の南御堂と北御堂で毎年会場を入れ替えて実施する「花まつりコンサート」に例年出演。関西を拠点に卓越した技量を持つ若き名手たちが、豪華絢爛な装飾が施された須弥壇の前で世界水準の音楽を奏でた。
主催者からの声：素晴らしいメンバーと共演できるのも皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。



能登半島地震救済チャリティコンサート

主催者：山本欽也 助成額：13 万円
場所：寝屋川市立地域交流センターアルカスホール（寝屋川市） 実施日：2024 年 4 月 26 日

活動概要：関西を中心に幅広い活動を行うテノール歌手の山本欽也の呼びかけで集まった声楽家たちによる能登半島地震被災地支援のためのチャリティコンサート。趣旨に賛同し足を運んだ聴衆を前に、ロッシェニやモーツァルトなどのオペラから有名なアリアが次々と演奏され、復興への願いを皆で共有する機会となった。
主催者からの声：集まった寄付は日本赤十字社を通じて被災地に届けられました。



休日の朝のクラシック音楽会

助成先：木下実優 助成額：12 万円
場所：ドルチェ・アーティスト・サロン大阪（大阪市） 実施日：2024 年 6 月 2 日、10 月 14 日、2025 年 2 月 9 日

活動概要：ドイツ国立シュトゥットガルト音楽演劇大学大学院でピアノを学び、関西を拠点に活動するピアニスト・木下実優による休日の朝に行われるクラシック音楽会。毎回ゲストを招きデュオ形式で行われる。月嶋アミ（ヴァイオリン）、北川もみじ（ヴィオラ）、内山健人（バリトン）の3名がゲストとして出演した。
木下さんからの声：クラシックに触れるきっかけとなるような演奏会を今後も作っていきたいと思います。



『クレモナ』モダンタンゴ・ラボラトリ第 17 回定期公演「Departure」

助成先：『クレモナ』モダンタンゴ・ラボラトリ 助成額：12 万円
場所：豊中市立文化芸術センター中ホール（豊中市） 実施日：2024 年 11 月 12 日

活動概要：女性4人による木管四重奏団。2016 年に結成。ピアソラの意思を継ぎクラシックの新たな形としてのモダンタンゴの発展をめざす一方、近年は坂本龍一の楽曲も手掛ける。今回は前半が坂本龍一のプログラム、後半はピアソラの「トロイロ組曲」の初演を含むピアソラの曲で構成し、対比的なプログラムを試みた。
主催者からの声：今後オリジナルの新曲を作り、名刺代わりの一曲として演奏を重ねていきたいです！



みて、きいて、ふれて、親子で楽しむ音楽会 クリスマスってなあに？

助成先：鳩山冨映 助成額：13 万円
場所：今福音楽堂（大阪市） 実施日：2024 年 11 月 30 日

活動概要：聴くだけではなく、「見ること」「聴くこと」「触れること」を通して、音楽が子どもたちの成長の糧になるはず。プロジェクターを利用して見ることを促し、ボディーパーカッションなどで参加する意識を持たせるなど、単に演奏を聴くだけではない様々な工夫を盛り込んだ参加型のクリスマスコンサートとなった。
鳩山さんからの声：こどもたちの「個性」や「可能性」を引き出すきっかけづくりの場として企画しました。



未就学児童を対象としたコンサート活動

助成先：Rosetta+ 助成額：13 万円
場所：みずのき美術館（亀岡市） 実施日：2024 年 12 月 28 日

活動概要：現代音楽の演奏を手掛ける音楽家集団 Rosetta+ が取り組んだアウトリーチプログラム。単なる聴くだけの演奏会ではない、手遊び歌を介した楽器紹介や、季節に関連する歌をメドレーで紹介するなど能動的な参加を促す工夫も取り入れた。クリスマスの曲や昔の唱歌も取り入れ、世代を超えて楽しめる内容となった。
主催者からの声：こどもたちが楽しそうに手遊びをする姿、大人が唱歌を口ずさむ様子が印象的でした。



松下愛美ピアノリサイタル

助成先：松下愛美 助成額：10 万円
場所：豊中市立文化芸術センター小ホール（豊中市） 実施日：2024 年 5 月 10 日

活動概要：ドイツで学び現在ニューヨーク在住のピアニスト松下愛美のソロリサイタル。自身の音楽体験からベートーヴェンやドビュッシーなどのヨーロッパの作品と、ガーシュインやバーバー、アムランなどの近現代の北米の作曲家を、前半と後半で対比的に配置するなど意欲的なプログラムで取り組んだ。
松下さんからの声：久しぶりに故郷大阪での演奏となりました。お越しくださった皆様に感謝申し上げます。



刻む

助成先：打楽器実演家集団 studio kNot 助成額：18 万円
場所：伊丹市立演劇ホール AI HALL（伊丹市） 実施日：2024 年 5 月 11 日～12 日

活動概要：打楽器アンサンブル studio kNot。その名称には否定の「not」と結ぶ「knot」の 2 つの意味がある。今回の公演「刻む」は、曲を追うごとに奏者が徐々に増え、最後の曲では 6 名の奏者がさまざまな打楽器を超絶的に弾きこなす演奏を披露。まさに楽器としての打楽器の本質に迫るコンサートとなった。
主催者からの声：既存からの逸脱をテーマとしていますが、毎回お客様の反応で次へと繋がる刺激を受けます。



三田ゆかりの芸術家によるウィンターコンサート Vol.3

助成先：三田アーティストプロジェクト実行委員会 助成額：10 万円
場所：三田市総合文化センター郷の音ホール 小ホール（三田市） 実施日：2025 年 1 月 26 日

活動概要：兵庫県三田市ゆかりの若い音楽家たちが企画し 2022 年から継続して開催している。今回で 3 回目。室内楽とバレエ、声楽によって構成されており、バレエは地元のバレエ教室で学ぶ子どもたちが出演。芸術文化がより身近に感じられる場となっている。弦楽四重奏にギターを加えたギター五重奏も好評であった。
主催者からの声：3 回目となり、構成のメリハリのつけ方や観客の巻き込み方など多くの学びがありました。



「関西ニューウェーブの軌跡」～EXPO'70 から現代、大阪文化と音楽

助成先：岡田智則 助成額：19 万円
場所：大阪市天王寺区センターホール（大阪市） 実施日：2024 年 12 月 22 日

活動概要：作曲家でアコースモニウム奏者として活動する岡田智則の公演。EXPO'70 の音楽的レガシーに言及すべく、当時来日したシュトックハウゼンの曲をアコースモニウムのシステムで演奏。また「80 年代関西ニューウェーブ」を想起させるアートと音楽の融合、「大阪」の文脈を音として創出する試みなどを意欲的に提示した。
岡田さんからの声：大阪万博で発展した音楽で大阪の魅力を発信するという意図は達成できたと思います。



リンカントアンサンブル室内楽公演 Vol.1

助成先：特定非営利活動法人リンカント 助成額：10 万円
場所：西宮市甲東ホール（西宮市） 実施日：2024 年 9 月 6 日

活動概要：イタリア・ヨーロッパの音楽の普及と地域の音楽振興を視野に企画されたピアノ六重奏による室内楽演奏会。ベルギーの作曲家ヤン・ヴァンデルローストの日本初演作を含む、プロコフィエフやモーツァルトの曲を交えたプログラムを構成。曲の合間にトークを入れ、曲のイメージを伝えるなどの工夫を凝らした。
主催者からの声：1 曲目から会場の良い雰囲気が伝わり、楽しまれていることを感じながら演奏しました。



サポーターズクラブの会費や自動販売機からの寄付など、特に使い途の指定のない寄付から支援

冬木 遼太郎 (ふゆき りょうたろう) (美術)

助成額：30 万円 主な活動：フィリピン／マニラの美術館での個展を主とした制作活動
場所：UP Vargas museum and Filipiniana research center (マニラ) 実施期間：2024 年 7 月 11 日～9 月 5 日

活動概要：映像や立体など、独自の感性で社会を鋭くとらえ、自身の「芸術」として発表してきた冬木遼太郎。マニラにあるヴァルガス美術館で個展「Kayuminonai」(かゆみのない)を開催。館の所蔵品が、その内部からモノとして誘引する緊張、発見、啓示への誘いを「かゆみ」ととらえ、また「かゆみ」は肌や人種を想起させるものでもあるとして、その「意図的な消失」に言及する展示を行った。
冬木さんからの声：自身初の実験美術館での個展となりました。作家として重要な機会を頂いたと思っています。



水木 壘 (みずき るい) (美術)

助成額：20 万円 主な活動：個展「風に、傾く陽と」にむけての作品制作活動
場所：CAVE AYUMI SUZUKI GALLERY (東京都) 実施期間：2025 年 1 月 18 日～2 月 23 日

活動概要：水木は鏡面素材を通して風景と結びついた虚構性を取り入れるなど、独創的な作品を手掛ける。文化庁の在外研修制度で英国に滞在し、英国の庭園に見られる「見立て」「借景」「縮景」を、物質や意味を超えて対象を結びつける要素と捉え、独自のインスタレーションモデルの構築に取り組んだ。その成果は 2025 年 1 月に開催された個展で発表され、現代都市にまつわる代謝、公共、境界、侵犯といった問題を問う展示となった。
水木さんからの声：十分満足のいく作品が出来上がり、展覧会の評判も上々で、手ごたえを感じました。



堀 奏太郎 (ほり そうたろう) (美術)

助成額：20 万円 主な活動：立体支持体を用いた作品シリーズの制作と個展開催
場所：alternative space yuge (京都市) 実施期間：2024 年 11 月 2 日～11 月 17 日

活動概要：堀はスペクタクルなハリウッド映画やサブスクで視聴する海外ドラマなどが放つ強烈な「アメリカン」な視覚に惹きつけられ、絵画を通してその感覚の表出を試みる。近年手掛けるのは、そうした視覚に宿る「男性性」。その象徴でもあるマッチョで巨大なロボットを、細部に至るまで丹念に描いて立体化させた「絵画」を生み出した。その立体物としての視覚的なインパクトは、その場にいる者を圧倒する力を放っていた。
堀さんからの声：助成金がきっかけとなり、近年の活動がひとつに結実するような展示ができたと思います。



宮坂 直樹 (みやさか なおき) (美術)

助成額：20 万円 主な活動：作品《Sunspace3》の制作と発表
場所：VOU/樺 (京都市) 実施期間：2024 年 11 月 16 日～2024 年 12 月 29 日

活動概要：ブリュッセル王立美術学院(修士課程)、東京藝術大学(Ph.D)などで学ぶ。建築家ル・コルビジェが考案した人体の身体基準「モデュロール」をもとに鑑賞者自身の身体を起点として、鑑賞者と作品との空間的な関わりや他者の関与の在り方を演繹し、考察を促すような作品を手掛けてきた。今回京都にて自身の代表的なシリーズ Sunspace の新作を発表。場に設えた構造が、人体や意識、空間に関与する様を浮かび上がらせた。
宮坂さんからの声：視野によって壁や地面を変形させ、体性感覚に働きかけるような作品に取り組んでいます。



黒田 大スケ (くろだ だいすけ) (美術)

助成額：40 万円 主な活動：大阪の公共彫刻とモニュメントの調査と作品制作
場所：大阪市各所 (大阪市) 実施時期：2024 年 7 月～2025 年 1 月

活動概要：黒田は彫刻家として、シニカルな映像パフォーマンスなどによって彫刻を形づくる社会的な意味を解体する。2025 年に大阪府立江之子島文化芸術創造センターで開催される個展にむけて、大阪の公共彫刻を網羅的に把握し、作家の選定、設置場所、時代背景、視覚的特徴を分析し、そこから「大阪の芸術」を問い直すリサーチを行った。その成果は 2025 年の個展で発表されるとともに、WEB でも発信される予定である。
黒田さんからの声：今回リサーチを作品へ展開させていくことへの意識がより深まったように感じます。



野村 由香 (のむら ゆか) (美術)

助成額：20 万円 主な活動：神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond に向けた制作と展示
場所：六甲高山植物園 (神戸市) 実施期間：2024 年 8 月 24 日～11 月 24 日

活動概要：生き物が生きる為に行う普遍的な営みに関心を持ち、自然や暮らしに作用する大きな「力」や抗しがたい他者の存在などの作品化を試みる。近年は地理的組成と人の営みである歴史的な文脈との関係性を問うスケールの大きな作品を手掛ける。六甲山を作り出した断層の動きを、種がひらく種子に重ね、巨大なエネルギーを溜め込み放出する、地球の息づかいのようなものを形にすることを試みた。この作品は神戸市長賞に選ばれた。
野村さんからの声：六甲山の生態系と呼应するような場所に設置できて、良かったと思っています。



高野 裕子（たかの ゆうこ）（舞台芸術）

助成額：20 万円 主な活動：①からだであそ部 ②芦谷康介と高野裕子 第 4 回公演「tide」
場所：①Coffee Books Gallery iTohen ②GULIGULI 実施日：①2024 年 8 月 18 日 ②2025 年 2 月 1 日～2 日

活動概要：コンテンポラリーダンサー高野裕子の活動を支援。「からだであそ部」は、空間の風景の中から動きを創るワークショップを中心に、参加者各々の発見や想像を味わう時間となった。「tide」の上演は 2020 年の作品の再演で、ダンス作品を再演することの意味と向き合い、その可能性を考える契機となった。アフタートークでは多彩なゲストを招き、観客とともにダンスの経験について様々な視点を共有することができた。
高野さんからの声：「tide」の再演にあたり、作品の熟成とは何かを考えるきっかけとなりました。



Photo: 高橋拓人

コトリ会議（舞台芸術）

助成額：40 万円 主な活動：公演「おかえりなさせませんさい」
場所：伊丹市立演劇ホール AI HALL（伊丹市） 実施日：2024 年 12 月 5 日～9 日

活動概要：2007 年に旗揚げされたコトリ会議。伊丹で行われた公演「おかえりなさせませんさい」は、戦争に明け暮れる未来社会を舞台に、軍の召集を逃れるためツバメと融合した人造人間となるべきか否かの葛藤を描いた SF ヒューマンドラマ。人間の尊厳、そして家族への愛が、極限の選択の中で描かれる。戦争の悲惨さと無力感をコミカルに浮き彫りにしたこの作品は、2024 年の関西えんげき大賞最優秀作品賞に選ばれた。
劇回からの声：メンバー全員で話し合いながら作った作品です。それが大きな賞の受賞につながったと思います。



Photo: 河西沙織（杏劇屋）

劇回不労社（舞台芸術）

助成額：40 万円 主な活動：『悪態 Q』京都・東京・兵庫をめぐるツアー公演
場所：①京都芸術センター（京都市）、②BUoY（東京都）、③友田酒造（豊岡市）
実施日：①2024 年 8 月 23 日～25 日、②9 月 6 日～8 日、③9 月 14 日～15 日

活動概要：2015 年に代表の西田悠哉が大阪大学在学時に旗揚げ。現実と虚構の境界を行き来する演劇を試みる。2023 年に上演した『悪態』は、海外のネットロアとして普及した空間ジャンル「Liminal Space」を扱った作品であり、場所性に強く依存するため、今回『悪態 Q』として国内 3 か所をめぐるツアー公演を行った。また様々なジャンルの専門家を招いたアフタートークを通して、作品を多角的に捉える視点を観客と共有した。
劇回からの声：東京の BUoY、豊岡の友田酒造ともユニークな会場で、この作品にふさわしい空間となりました。



桂福丸（かつら ふくまる）（伝統芸能）

助成額：25 万円 主な活動：「かつらふくまるの子どもだけ寄席」「かつらふくまるとラクゴニンジャの夏まつり」
場所：大阪市港区民センターホール（夏まつり）、天満天神繁昌亭（子どもだけ寄席）（大阪市）
実施日：2024 年 8 月 18 日（夏まつり）、12 月 25 日・26 日（子どもだけ寄席）

活動概要：灘中高、京大卒という異色の経歴を持つ落語家・桂福丸。小学生を対象に「ラクゴニンジャの夏まつり」と「子どもだけ寄席」を継続して行っている。大人が上から教えるのではなく、子どもの自主性を大切にし、子どもの目線でラクゴニンジャがお話し、寄席には子どもしか入れない設定とする。落語が伝える伝統的な言葉や知恵を、子どもたちが自然に受け入れるよう仕向けていく手腕は見事である。
福丸さんからの声：子どもたちはとても喜び、保護者からもぜひ続けて欲しいと言っていたいております。



第三回大の会（伝統芸能）

助成先：大の会
助成額：25 万円 場所：湊川神社神能殿（神戸市） 実施日：2024 年 10 月 27 日

活動概要：能 meets と自ら名付けた能の普及活動に精力的に取り組む能楽師の林本大。自身が主催する「大の会」の公演として神戸の湊川神社神能殿にて能「隅田川」と「石橋」を 2 番続けて上演した。午前中に、午後の公演に先駆け事前講座を実施し 56 名が参加。能楽師・武田宗典氏による演目「隅田川」「石橋」にちなんだ解説が行われ、静と動と対比的な能でありながら「親子」という共通するテーマを持つことなどが語られた。
ご担当者からの声：伝えたいテーマをもって企画することの大切さを、手ごたえとともに感じました。



Photo: 野口英一